

## 第51週の発生動向 (2007/12/17~2007/12/23)

1. インフルエンザについては、[インフルエンザ情報](#)に掲載しています。
2. 咽頭結膜熱については、東地方+青森市保健所管内においては第45週から、むつ保健所管内において第48週から**警報**が続いています。
3. 感染性胃腸炎については、むつ保健所管内において、新たに、**警報**が出されています。

## 第51週五類感染症定点把握

注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数						
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(100) インフルエンザ	187	14.38	371	24.73	298	21.29	274	39.14	282	31.33	16	2.67	1,428	22.31	239	40	20.00	147	13.36							
(72) RSウイルス感染症	7	0.88	12	1.33	4	0.44	6	1.20	3	0.50			32	0.78	11			7	1.00							
(73) 咽頭結膜熱	29	3.63	4	0.44					2	0.33	17	4.25	52	1.27	-4	2	2.00	27	3.86							
(74) A群溶血性レンカ球菌咽頭炎	10	1.25	20	2.22	1	0.11	4	0.80	11	1.83	10	2.50	56	1.37	6			10	1.43							
(75) 感染性胃腸炎	105	13.13	40	4.44	39	4.33	6	1.20	45	7.50	83	20.75	318	7.76	14	8	8.00	97	13.86							
(76) 水痘	13	1.63	8	0.89	10	1.11	15	3.00	7	1.17	2	0.50	55	1.34	-37			13	1.86							
(77) 手足口病	1	0.13	2	0.22	3	0.33	8	1.60	1	0.17	3	0.75	18	0.44	-13			1	0.14							
(78) 伝染性紅斑			1	0.11	7	0.78			1	0.17	3	0.75	12	0.29	1											
(79) 突発性発疹	2	0.25	1	0.11	5	0.56			4	0.67	2	0.50	14	0.34	2	1	1.00	1	0.14							
(80) 百日咳															0											
(81) 風しん															0											
(82) ヘルパンギーナ															0											
(83) 麻疹(成人を除く)			2	0.22			1	0.20							0			3	0.07							
(84) 流行性耳下腺炎					3	0.33	2	0.40	2	0.33	1	0.25	8	0.20	1											
(86) 急性出血性結膜炎															-1											
(87) 流行性角結膜炎	4	2.00	1	0.33	2	1.00	3	3.00	3	1.50			13	1.18	1			4	2.00							
(95) マイコプラズマ肺炎					7	7.00							7	1.17	-4											

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
東地方	2	1	1	0	0
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
青森市	11	7	4	2	1
合計	64	41	23	11	6

は警報
  は注意報
 「空欄」: 患者発生数 0

### 表 以外の感染症法対象疾患

(注：結核については4月1日からの累計で、届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前3人、五所川原1人、上十三1人、むつ1人、青森市1人 (19年計:191人)
- (34) つつが虫病(四類全数把握疾患)：むつ1人 (19年計:12人)
- (64) 後天性免疫不全症候群(五類全数把握疾患)：八戸1人 (19年計:4人)

## 感染症の窓

## 感染性胃腸炎

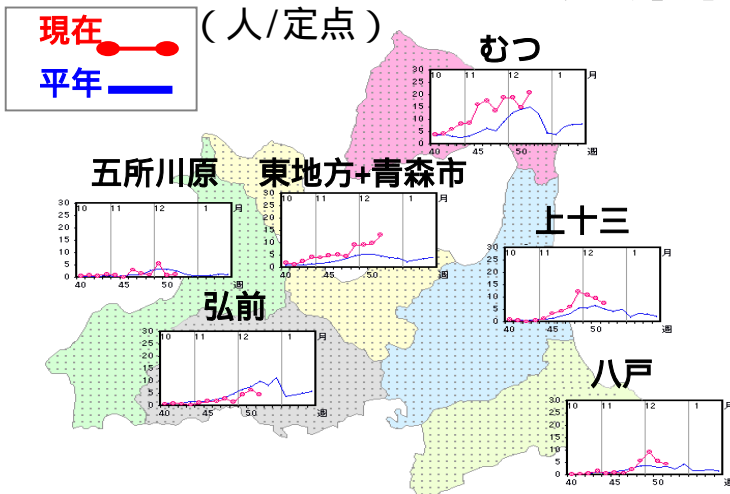


図1 保健所管内別発生状況(第51週現在まで)

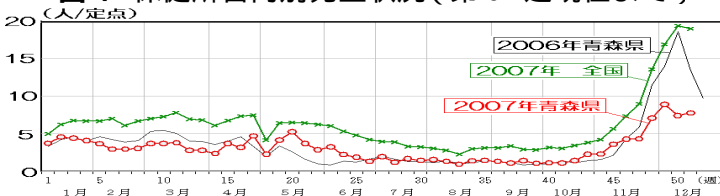


図2 全国及び青森県における発生状況

感染性胃腸炎の原因病原体の一つに、ノロウイルスがありますが、最近、東京都内(12/25)、奈良県(12/26)、秋田県(12/25)等の福祉施設や老健施設において集団発生が起こっているとの報道発表がありました。本県においても、むつ保健所管内に、警報が出され(図1)、全国的には増加傾向にある(図2)ことから、今後、他の地域においても注意が必要です。症状は、下痢、嘔吐、腹痛ですが、特に、乳幼児や高齢者は脱水症状や体力の消失など重症化することがありますので発症した場合は、早めに医療機関を受診することが大切です。予防は、**丁寧な手洗い、熱を加える食品は、中心温度85以上、1分間の加熱**が必要です。患者吐物や便を処理するときには、**使い捨て手袋、マスク、エプロン**を着用し、拭き取る時には塩素系消毒剤(ハイターなど)で静かに拭き取ることが大切です。